

特殊舗装工

環境配慮/長寿命化対策工法

高耐久保水性舗装 **クールベープ・ファイブ** (温暖化対策)

NETIS登録番号：(旧) CB-040100-A

高耐久透水性舗装 **ポーラス・ファイブ** (雨水対策)

クールベープ工法協会

〒471-0034 愛知県豊田市小坂本町1-5-10 ヤハギ道路株内

TEL 0565-36-1112 FAX 0565-36-1113

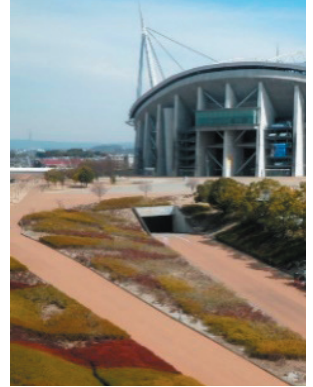
URL <http://coolvave.jp/>

mail toiawase@yahagiroad.co.jp

【協会員】ヤハギ道路株、矢作建設工業株、ヤハギ緑化株、株テクノサポート、パブリック技建株、東亜道路工業株中部支社、株丸平工業、東三建設株、セントラル建設株、石橋建設興業株



道の駅 したら
発注者：愛知県設楽町 2021年4月竣工



豊田中央公園 (豊田スタジアム)
発注者：豊田市 2017年8月竣工

【クールベープ・ファイブ】

「クールベープ・ファイブ」は、雨水を吸収して気化熱で水分を蒸発させて路面温度の上昇を抑える舗装技術である。路面温度を10℃程度下げることが可能なため、地球温暖化の観点からもヒートアイランド対策としても効果的。



公共施設 (体育館、学校、公園、病院等)をはじめ、マンションの駐車場、宅地内歩道、オフィス、店舗や工場の駐車場などで多く採用されている。

【ポーラス・ファイブ】

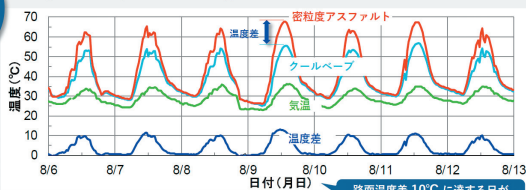
透水性舗装は雨水を速やかに地中に浸透させてから、徐々に河川に流出させる舗装である。路面の冠水を防いで遊水池としての役割を果たし、昨今では局地的な大雨対策として注目されている。



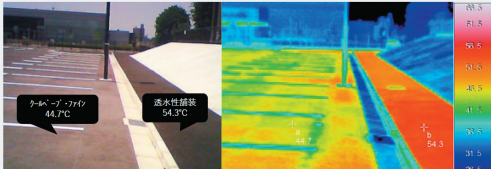
「ポーラス・ファイブ」は、一般的な透水性舗装の弱点であった耐久性を強化し、カラー表面処理を付加した舗装技術。その耐久性によりランニングコストが抑えられ、車走行での舗装面の石の飛散が抑制でき、第三者への事故防止にもつながる。

保水性

【路面温度/測定グラフ】 ※当社実験場において、8月5日の加水によるデータ



【路面温度/サーモグラフィー比較】

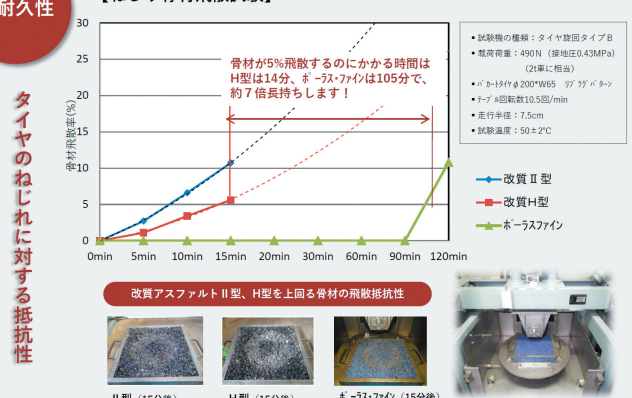


夏季の路面温度低減効果

クールベープ・ファイブは保水性とともに、高い耐久性も兼ね備えている。

高耐久性

【ねじり骨材飛散試験】



タイヤのねじれに対する抵抗性

ポーラス・ファイブは、高い耐久性とともに、透水性舗装を満足する機能性も兼ね備えている。

カラー

いずれの商品もカラー化に対応しており、車道と歩道を色分けして、駐車場内の事故防止対策をするなど、さまざまなシーンで活用できる。

